

## 千葉大学教育学部創立150周年記念事業 **同窓会記念誌「師道」のご紹介**

千葉大学教育学部同窓会会員及び関係者の皆様には、平素から本同窓会の事業推進にご理解ご支援いただきありがとうございます。

さて、千葉大学教育学部創立150周年記念事業の一環として企画した同窓会記念誌「師道」の編集作業も、いよいよ最終段階に入りました。まだ一部写真等の変更もありますが内容をご紹介します（印刷会社による**完成版はより鮮明な画像**です）。

### 1 同窓会記念誌「師道」の体裁・内容

【体裁】 A4判、94ページの全面カラー刷り。150周年記念で建立した彫像を含む200枚超の写真に掲載

#### 【内容】

- ① 挨拶・所感：同窓会長・教育学部長挨拶、役員経験者所感（会長、副会長、事務局長、会報編集長）
- ② 教育学部で学んで：昭和47年以降に卒業した全国の同窓生45名と在校生4名
- ③ 六百年会の歩み：昭和15年卒業生の同窓会の歩み
- ④ 教育学部の動向と同窓会活動：明治5年から令和元年度までの活動を写真入りの年表形式で紹介
- ⑤ 同窓会報の歩み：会報編集の歴史や巻頭言、特別寄稿一覧
- ⑥ 支部活動紹介：26地方支部の歴史や活動状況の紹介
- ⑦ 歴代役員一覧：歴代の本部役員、事務局長・局員、会報編集長・編集委員一覧
- ⑧ 同窓会活動の紹介：同窓会各種委員会、予算・会員数の推移、進路相談事業の経緯と概要、教育学部の現況（在学生数、入学試験や卒業後の進路状況）、会則改正の歴史
- ⑨ 写真で辿る我が学び舎の今昔：大学構内の四季、教育学部の前身、西千葉地区移転時、大学祭・学生運動、学生寮と寮歌、入学試験・卒業式、創立140周年式典、教育学部配置図・現在の校舎・附属図書館・附属教員養成開発センター、現在の授業の様子、部・サークル活動、大学のシンボルマーク・マスコット、食堂等厚生施設、新型コロナウイルス対策、附属園・学校
- ⑩ 「師道」編集の記録：編集工程表、編集委員会の歩み、写真・資料提供及び協力者一覧

### 2 申し込みの方法

12月17日頃送付された「シーズ基金」に同封の郵便払込取扱票にて事前送金(1,200円)での申し込みとなります。払込料金は同窓会負担です。なお、令和4年1月17日から郵便料金改定により、窓口及びATMでの現金払いの場合は、手数料110円が発生します。口座またはカード利用の場合は1月17日以降も無料。

### 3 申し込み期限

令和4年1月31日

### 4 同窓会記念誌「師道」のお届け

教育学部独自作成の記念誌の完成が令和4年8月頃のため、同窓会作成「師道」は令和4年10月頃、郵便払込取扱票に記載された住所に送付させていただきますので、楷書で記入するようお願いいたします。

## ◎ 記念誌の内容を一部抜粋して紹介します

**(全国の会員からの寄稿「教育学部で学んで」) ※記念誌では同窓生45名と在校生4名を掲載。**

<p>「楽しかった！」大学生活の四年間を表すのに、この言葉以外は見つからない。</p> <p>昔からずっと小学校の先生に憧れていた。大学では、授業づくりはもちろん、体育での跳び箱、図工での本作りなど、小学校における実践を</p>	 <p>後藤 真希子 宮城県仙台市 (H23・3卒)</p>	<p>全てに感謝</p> <p>私は、学部・大学院と六年間千葉大学で学び、現在は、夢だった高校の教員として働いている。しかし、一時期は、教員を職業とするか悩んだ時期もあった。その理由は、大学で学んでいくと、教員の多忙な実態</p>	 <p>片山 巧 千葉県船橋市 (H29・3卒)</p>	<p>教員になる決意</p> <p>私の大学生活は、新型コロナウイルスの影響によるオンライン授業から始まった。大学の仕組みも分からず、授業についていけないか、友達ができるかといった不安は確かにあった。しかし、今考えると、コロナ禍だからこそ学べたことも多い。</p>	 <p>尾形 実咲 (R2・4入学)</p>	<p>コロナ禍で学んだこと</p>
--	---	---	---	--	---	-------------------